広報
さめがわ

1972
6月号
No.223
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



村税の16年継続完納を実現しよう……

盛大な納税組長大会

納税はもとより一般行政の第一線機関として活躍している納税組長さんの恒例による大会は、6月13日村公民館で盛大に開催されました。

振興山村、過疎地域、広域市町村圏などの指定によるメリットを十分に採り入れながら、明るく豊かな住民の幸福を高めて行きたいと石田村長があいさつし、続いて協議に入り、大久保組長生田目幸次郎さんが議長となり今年は16年目の納税完納を実現しましようという議長提案を万場一致採択して、正午すぎ散会しました。

この日来賓として出席された岡崎行政連絡室長さん、税務署長さん、社会保険事務所長さんも、組長さんのほとんど全員が出席されたこと、時間励行が一分もおくれず実行されたことに感嘆されました。

⊙毎月1日は交通事故ゼロの日
　歩行者優先の日
⊙夏の衛生、伝染病に注意しましよう
⊙7月14日は農業委員選挙投票日です
⊙第3日曜日は「家庭の日」です

今月の人口

（6月1日現在）

人口	6,334	(+2)
男	3,199	(+2)
女	3,135	(0)
世帯	1,196	(+7)

簡易水道 ③

簡易水道とは布設対象区域の給水人口が一〇一人以上五〇〇〇人未満の施設をいいます。

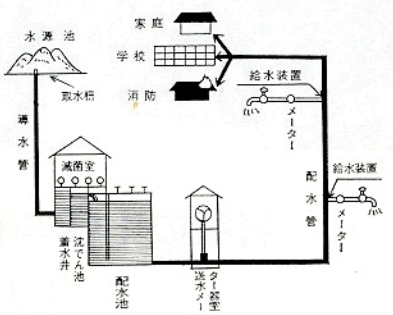
村の簡易水道の第一期工事は昨年十二月に竣工し、今年行う第二期工事も年内完成を目標に進めて六月着工の運びとなりました。

第二期工事では、滅菌室内部の設備、送水メーター器室建物及び機械の設備、配水管布設、各家庭の給水装置工事、消火栓の設備等を行いますが、特に配水管給水管布設個所の土地使用については、理解あるご協力をいただき感謝しております。

この工事は簡易水道施設整備費国庫補助事業で、国からの補助金と厚生年金保険積立金の還元融資によつて行われるものであります。

特に人の生命に直接関係する事業ですから工事も慎重に進めることになります。

特に水源施設や水質については県の水質検査票で明らかで、こんな良質の水源に恵まれたことは何よりの幸でした。





保健所長を初め屋内の担当農長一行が水源池を視察して、水質の良さに驚嘆しました。

おめでた

三月
茅　白坂ひとみ　父　寛

五月
水口　関根ゆかり　父　友保
青生野　森田　裕幸　〃　友美
二反田　大平　薫　〃　忠一
広畑　森　春美　〃　正紀
伊柳沢　三瓶　智弘　〃　一太郎
官代　前田　美香　〃　力男
内ケ竜　羽田　浩幸　〃　義美

おくやみ

五月　世帯主
名下　白坂　トメ　56才　助雄
大平　関根　広光　79才　忠雄
後田中　大竹　清　69才　清一

—◇◇◇—

中野長生会鮫小に雑布寄附

中野長生会（会長小松幸一）では、このたび雑布二〇〇枚を会員から集め去る六月三日鮫川小学校に寄附して、児童たちから感謝されています。

おはなのしみ (14)

いわき市勿来を基点として旧田人村を通り、四時川に添つて阿武隈山系に入り、本村の青生野、渡瀬を経て、塙町八幡から棚倉町寺山に出る路線は、藩政時代の浜街道で棚倉からの最短距離であつたようです。

国鉄東北本線が白河を通過することによつて、棚倉は交通の要衡たる地位を譲り、廃藩と磐越東線の開通は、この浜街道を衰微させました。

勿来棚倉線が県道に編入された当時、青生野境の平松沢地内などは田の畦道が県道になつていた始末で、郡境附近は主要地方道になつてからも、しばらくは自動車の通行が困難でした。それが国道に昇格されるや改良も舗装も急ピッチに進み、全線の改良舗装もここ数年のうちには完成されるものと思います。

春先の凍解け道を、自転車を担いで歩いた十数年前を思いながら政治の力の大さを感じないわけにはいかないのであります。

国道二八九号線

村長　石田卯子八

国道二八九号線は、初め新潟県弥彦村から白河市までという構想で運動が起されていました。

弥彦神社で有名な弥彦村から燕市、三条市、下田郷を経て新潟、福島の県境八十里越えから只見町に入り、南郷、駒止め峠を越して田島町に至る。更に下郷町から甲子高原を経て白河市に通ずるというのが、図上に描かれた一線で、国道昇格期成同盟会は会長に田中角栄氏を推して、熱心な運動が進められていたものです。

私たちは後からこの運動に割り込んだわけで、国道であるからには大平洋と日本海をつなぐべしと主張し、当時の主要地方道勿来棚倉—下郷線を入れることに成功したのであります。

この道路は国道昇格の時点で、国道六号線勿来の接点から、国道一一六号線（新潟柏崎線）新潟県吉田町の接点までとなり、弥彦村地内は除かれました。

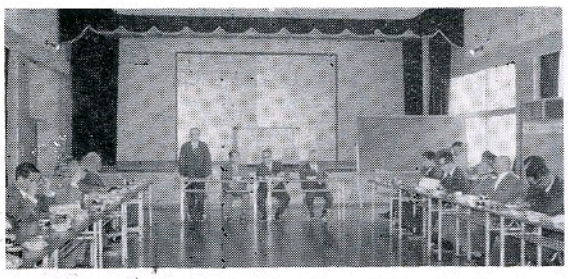
つい先日、本村の議員各位が新潟県内のこの路線をバスで視察研修されましたが、吉田町、燕市、三条市及び下田村の一部までは、もとの県道のままの舗装のようで、本格的な国道規格による改良は未だしの感があり、下田村地内福島県境八十里越えに至る間は、これから改良工事が行われる予定で、大型車輌の通交は困難ということです。

それに比し、後から割り込んだ本村地内の改良工事は順調で本年度は村内だけでも二億八千五百万円からの公共投資が予定され、改良舗装が大巾に進められることは、ご同慶にたえないところです。

着々進む広域圏事業

鮫川村に老人福祉施設

去る五月十七日に白河地方広域市町村圏整備組合管理者と議員一同で、同組合が昭和四十七年度に着工を予定している青少年健全育成センター（西郷村）・老人憩いの家（大信村）・老人保養施設（鮫川村）の建設予定地の現地調査が行われ、本村に予定される老人保養施設は、赤坂東野字広畑地内（湯の田附近）が適当とされ、工事費約二千七百万円で今年度から着工することに協議されました。



現地調査が終つて、鮫川村公民館で検討会が開かれました。

鮫川村消防団に名誉の筆頭綬

第二五回福島県消防協会東白川支部幹部大会が去る六月九日棚倉中央公民館で開催されました。

東白川郡内の副班長以上の消防団員三百名、外一般受賞者来賓等合せて約四百名が出席し盛大に行なわれました。

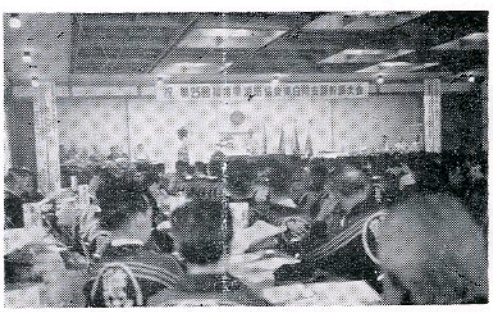
本村からも八〇名が出席し、この席上、各種表彰と表彰伝達が行なわれ鮫川村消防団に日本消防協会長表彰の筆頭綬が伝達されました。

これは、予防消防の徹底、教養訓練、機械器具整備状態等がいづれも優秀と認められたものです。

その他村内の表彰関係は次のとおりです。

◉県知事表彰
・功績章　団長蛭田藤留
・永年勤続章（二五年）
　蛭田一美　近藤保典　鈴木幸男　湯座辰弥
◉日本消防協会長表彰
・精績章　副団長青戸敏哉
・三〇年以上勤続章
　森田森嗣　前田正孝
◉福島県消防協会長表彰
・精勤章　湯座清男　前田正孝
・二〇年以上勤続章
　松本克巳　円井勝男　円井操　円井富宣　高坂博　藤田一夫
・二〇年以上勤続退職団員
　鈴木市治　生田目旭　円井七之助　鈴木正男　高木長雄　矢吹豊治　須藤忠　小松富治　芳賀弘　木之内一夫　森　康
◉消防協会東白川支部長表彰
・優良分団　第四分団（渡瀬）
・優良団員　関根仁市　湯座啓亘　高坂久男　水野照雄　赤坂基　鏑本正昭　本多清
・永年勤続団員（一五年以上）
　松崎安　生田目義也　舟木克臣　増谷猛　高坂盛栄　藤田栄昌　藤田清　北条正敏　北条辰之　小松幸次　蛭田貫雄　芳賀正一　矢吹友一　窪水雅夫　前田初　前田勝男　赤坂虎男　般木彦助
・一般人感謝状贈呈
　赤坂中野字巡ケ作　矢吹勝蔵

又、鮫川村消防団が、四五年と四六年の大会で二年連続受賞した金ばれんは、惜しくも棚倉町消防団の手に移りました。



夏の健康管理

伝染病予防について

おそろしい伝染病を媒介するカハエ、を退治し、住みよい村作りにご協力下さい。

カ、ハエの発生源となりやすいトイレ、牛舎附近、側溝等は、一週間に一度位は薬剤の撒布を行い幼虫の退治を完全に行うようにして下さい。

し尿は早目に処理することが大切です。食前、食後、外出等の場合は手洗いの励行、早寝、早起きの実行、寝冷をしないよう注意して下さい。もし下痢等で腹痛を起した場合は、買薬などによる、家庭処理を行わずに早く医師の診察を受けるよう心がけて下さい。

☆農業共法組合で人事異動☆

◎転出
（鮫川出張所長）白石　芳次
　塙出張所へ
（技師）青戸良一　棚倉出張所へ
◎転入
鮫川出張所長　有賀　岩男
　本所事業課から。
総務、蚕繭、会計担当
主事補　鈴木　克則　塙出張所から。
麦類、任意保険、損害防止担当
（六月一日付）
鮫川出張所は、そのほか、佐藤介夫主事（出納、家畜担当）の三名で農業共済事業を行います。

農業委員選挙

現在の農業委員の任期は七月十九日で満了となるため、次により農業委員の選挙を行うことになりました。

選挙投票日　七月十四日（金）
立候補受付　七月七日から同八日まで
　各日とも午前八時三十分から午後五時まで

農業委員は農業全般の振興を図る重要な役割を果す委員です。有権者の皆さんは棄権をしないで必ず投票して下さい。

なお選挙管理委員会では、明るく正しい選挙を行うため、立候補に関する説明会を開く予定です。期日等については回覧文書でお知らせします。

告知版

生活のすべてに安全を
危険な花火あそびに注意!!

安全な花火あそびをするために大人がよく注意して危険な花火を絶対にやらせないようにして下さい。とくに次のことを守り花火による事故をなくしましょう。

◉花火は大人の人に買ってもらい上げる時は大人が監視すること
◉たくさんの花火を一度に上げないようにすること。
◉花火を、人や建物などに向けないこと。又燃えやすい物の近くでやらないこと。
◉花火に書いてある注意書をよく読んで注意事項を守ること。
◉火災気象注意報発令中や風の強い日にはやらないこと。
寝る前には必ず火の元を点検して下さい。
火事と救急車は「一一九」番へ

(白河消防署鮫川出張所)



白河消防署鮫川出張所の落成祝賀式が行われ、常備消防職員が紹介されました。

利子所得に対する税金

昭和五〇年一二月三一日までの間に支払われる利子に対する所得税は、次のようになります

定期預金、貸付信託、金銭信託、公社債、公社債投信、勤務先預金などの利子については

①利子を受け取る際に所得税を源泉徴収され、その後の申告手続きのいらない分離課税(税率は、四七年は二〇%、四八年から五十年までは二五%)と、

②利子を受け取る際に一五%の所得税を源泉徴収され、ほかの所得と合計して確定申告で精算する総合課税のうち、どちらか有利な方を選択できます。

(白河税務署)

(国保だより)

老人医療費について

村では、昭和四十七年四月一日から老人医療費の無料化を実施しております。ただし、各種社会保険加入世帯の老人の医療費は、個人負担金があり、十分の二の金額を各診療機関の窓口に支払うことになっています。

各該当者には、「老人医療費助成受給資格者証」を交付してありますから、診療を受ける場合は、この受給資格者証と保険証を診療機関の窓口に提示して受診することになっています。

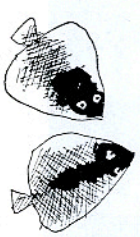
県外の医療機関ではこの取扱いをしませんので、止むを得ず県外の医療機関で診療を受けた場合は三割分(社保の場合五割分を)支払い、診療報酬請求明細書及び、領収証書の交付を受け、これを役場に提出して下さい。提出の日より二ヶ月後に支払を行います。

とうけい

七月一日現在で県内の人口のうち働いている人はどのくらいいるか、どんな産業や職業に従事してどのくらいの時間働いているか、働きたくても仕事がないため職を探している人はどのくらいいるかなど、県民の就業状態を明らかにするための就業構造基本調査が行なわれます。

本村内で該当する世帯は次の各地区のうち無作為抽出で選ばれた世帯です。それぞれ担当の調査員がお伺いしますのでご協力をお願いします。

〔西山〕落合、吉合、鐘撞堂、馬場、鬼越、辺栗、強滝(鈴木輝男)〔西野〕岫長、火打石、下野町、上野町、岡田(舟木仁)〔中野〕大塩、官沢、薄ケ久保、西野前田(水野芳光)〔中野〕滝平、取上、真坂、道少田の一部(鈴木市治)〔中野〕新宿、中野前田、道少田の一部(近藤保典)〔富田〕二反田、反田(松本源一)〔東野〕伊柳沢、大石草、小名沢(鈴木孝雄)〔青生野〕姿平、世々麦大犬平(森田森嗣)



雑感

老人憩いの家に期待

小松幸一

五月八日、赤坂中野長生会の役員会を開いた。改選後初めての会合なので自宅を会場にした。午後一時の開会なのに一時間おくれて二時に開会した。時間励行を強調しているのに困ったことであると残念に思いこれが対策になやむ。

五月十五日、第四回鮫川村公民館主催の社会学級開講式に出席した。今年は申込者が多く百名が出席した。開講式が終ってから運営委員の改選が行われて学級長に選ばれ喜んで承諾した。今までの経験を生かし活気のある喜ばれる学級にしてみたいと思う。

五月十七日老人いこいの家は、村当局の誠意ある活動により、白河地方広域市町村圏の事業として計画され、五月十七日その建設候補地の検分が行われ、湯の田温泉附近に決定したとき、喜びにたえない。